**教育に関する大綱**

**平成２７年１０月**

**福井県勝山市**

目　 次

Ⅰ　大綱の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

Ⅱ　大綱の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

Ⅲ　基本方針

１　新しい時代にたくましく生きる力を育む学校教育・・・・・・・・・１

２　生き生きと学び・行動する生涯学習の推進・・・・・・・・・・・・２

３　豊かな心と感性を育む文化の振興・・・・・・・・・・・・・・・・２

４　活き活きと輝くスポーツの振興・・・・・・・・・・・・・・・・・３

Ⅳ　基本方策

１　学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

２　生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

３　文化・歴史・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

４　スポーツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

**Ⅰ　大綱の位置づけ**

本大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第1条の３第１項の規定に基づき、市長が教育委員会と協議・調整の上、今後勝山市が進める教育行政の基本方針と基本方策を示すものです。

変化の激しい社会情勢を見据え、勝山市において求められる人材像を明確にし、「第５次勝山市総合計画」「勝山市教育方針」等との整合性を図りながら、**学校教育、生涯学習、文化**・**歴史、スポーツ**の４分野における当面の重点課題への取組み方針を定めます。

**Ⅱ　大綱の期間**

大綱の期間は、第５次勝山市総合計画の期間に合わせ、平成27年度から平成32年度までの６年間とします。なお、国の動向、社会・教育情勢の変化等に伴い、必要に応じて見直す場合があります。

**Ⅲ　 基本方針**

**１　新しい時代にたくましく生きる力を育む学校教育**

**（１）全国トップクラスの学力を基礎に育む多様な力**

　　　　急激なグローバル化の進展など変化の激しい社会において、次代を担う子ども達が力強く自立していくために必要な多様な力を身に付ける教育を進める。（確かな学力に加え、思考力、判断力、表現力、創造力、コミュニケーション力、行動力、協働力など）

**（２）心身共に健全な将来世代を育む家庭・地域・学校の連携**

　　　 子ども達が健全な人間性・社会性を身に付けるための教育を、家庭・地域・学校の緊密な連携のもとで進める。（命を大切にする心、思いやりの心、倫理観、正義感、規範意識、忍耐力、チャレンジ精神など）

**（３）「ふるさと創生」の担い手を育成**

　　　 子ども達がふるさと勝山のすばらしさを発見・体感できるような様々な取組みを進め、誇りと愛着を持ってふるさとに寄与する人材を育む。（豊かな自然・歴史・文化・産業など）

**（４）より良い教育環境を目指して**

　　　　　一層の少子化の進行に対応し、小中学校の再編と幼稚園のあり方について方針・方向性を整理する。また、安全性と快適性、教育の効率性を高めるための施設・設備の整備を進める。

**２　生き生きと学び・行動する生涯学習の推進**

**（１）多様な学習機会を充実・提供**

　　 　市民一人ひとりが、生涯にわたって主体的に学び続けるための学習機会や内容を充実する。また、蓄積した豊かな知識や技術を社会に還元し、ふるさとの人づくり・地域づくりに寄与する活動を支援する。

**（２）ジオパークなど勝山の特性を活かした自然体験学習**

　　 　 多彩で豊かな自然環境の体験学習を進め、市民の一層の環境意識とふるさ

とへの自信と誇りを醸成し、貴重な地域資源の保全とともに地域活性化への活用に繋げる。

**３　豊かな心と感性を育む文化の振興**

**（１）文化芸術活動をさらに活性化**

子ども達の感性を育み、市民の豊かな心を醸成する文化芸術活動がさらに活性化するよう、鑑賞機会の提供や自主的な取組みへの支援を行う。

**（２）伝統文化をふるさとづくりに**

左義長まつりをはじめとする勝山の伝統文化を、市民力・地域力の結集により継承発展させ、心豊かなふるさとづくり・絆づくりに結びつけていく。

**（３）豊富な歴史遺産の保存と積極的活用**

 　国史跡白山平泉寺旧境内をはじめとする貴重な歴史文化遺産を後世に継承していくため、適切な保存・整備の取組みを進める。また、それらを地域の財産・誇りとして、まちづくりに積極的に活用していく。

**４　活き活きと輝くスポーツの振興**

**（１）平成３０年国民体育大会を成功に**

　 　　福井しあわせ元気国体と福井しあわせ元気大会（障害者大会）の成功へ向けて市民一丸となった取組みを進め、多くの大会参加者にも市民にも強く心に残る大会を目指す。

**（２）体育施設の整備・充実と幅広い活用**

　　 市民待望の新体育館を完成オープンさせ、勝山市の新たなランドマークとして幅広く活用していく。

　　 また、市内体育施設を効率的・効果的な利用に供していくため、既存体育施設の再整備、再配置を計画的に進める。

**（３）競技スポーツ、生涯スポーツを一層普及**

　　　国民体育大会へ向けた選手強化、世界で活躍する勝山のトップアスリートに続くジュニアの育成など、競技力向上への取組みを進める。

　　　また、福井国体の開催、新体育館のオープンを契機に、さらに多くの市民が活き活きとスポーツに親しみ健康づくりに取り組めるよう、生涯スポーツの一層の普及振興に努める。

**Ⅳ　基本方策**

**１　学校教育**

①　教員の指導力向上、授業改善の不断の研究、ＩＣＴ機器の充実・活用などにより、「楽しく分かる授業」のさらなる取組みを進め、全国トップレベルの高い学力の確実な定着を図る。

　　また、支援を要する児童生徒には、個に応じた丁寧な教育により適切なサポートを進める。

②　勝山市の大きな特色となっているユネスコスクールへの全小中学校加盟の下、環境教育、ESD（持続発展可能教育）など主体的・能動的に学習する教育を一層進め、グローバル社会で活躍するための自立する力、協働する力など多様な力の基礎を培う。

また、その一環として、全国に先駆け国から強化地域に指定されている英語教育について、市内小・中・高一体的・系統的に取り組む体制を整え、オールイングリッシュ授業など「話せる英語」を重視した教育を進める。

③　健全な人間性の涵養へ向けて、道徳教育の充実、「かつやまっ子応援プラン・６つのルール」や小笠原礼法に基づく「くらしの礼儀作法」の実践を通し、家庭・地域・学校がそれぞれの教育力の向上を図りながら、共通の課題と目標を持って取り組む。

　　 　また、学校の「いじめ防止基本方針」の組織的対応により、いじめの未然防止と発生した場合の早期解消を徹底する中で、人の痛みを理解し人を思いやる心を養う。

　④　子どもの頃から四季折々の豊かな自然に触れ・体験する活動を促し、ふるさとの素晴らしさを体感しながら好奇心やチャレンジする心を醸成し、たくましく生きる力を育む。

　　　そのため、「東山いこいの森」でのキャンプをはじめ、様々な場を活用した野性味あふれる自然体験学習を進める。

⑤　勝山の歴史・文化・産業・自然環境を学ぶ教育を積極的に進めることにより、ふるさとへの誇りと愛着心を醸成し、将来にわたって自分のふるさとを大切にする心を育てる。その中で、繊維産業など最先端の技術を有する市内企業の現状を学び、将来地元での就職や起業を志すマインドを育む。

　　　　また、福井県のトップブランド「恐竜」に関する学習を充実し、誰もが「恐竜王国」を紹介・アピールできるよう知識を深める。

⑥　全国トップクラスの体力を維持しながら、調和のとれた体位・体力の向上と、心と体の健康増進を図るため、スポーツに積極的に取り組むよう促すとともに健康で規則正しい生活習慣を定着させる。

⑦　新たな社会問題となっているスマートフォンなどの用い方について、いじめや不健全な生活に繋らないよう、保護者の理解と協力の下、適切な使い方のルールを浸透する。

⑧　幼稚園・小学校・中学校・高等学校において、「福井型１８年教育」に基づく保・幼・小・中・高の交流・連携・接続の取組みを積極的に進め、より効果的な教育、児童生徒の充実した学校生活、不登校の防止に繋げる。

⑨　ＰＴＡ、地域学校協議会、地域住民の協力を得て、児童・生徒が誇りに思う開かれた特色ある学校づくりを進める。

⑩　より良い教育環境を目指して、平成３０年に中学校再編にかかる検討委員会を立ち上げ、平成３１年度に方針の結論を得る。また、併せて小学校のあり方についても検討する。さらに、認定こども園の開設とその動向を見ながら、幼稚園のあり方について方向性を整理する。

　　　 　学校の施設・設備については、国や県の助成制度を十分活用しながら、より安全・快適な環境整備に取り組む。

**２　生涯学習**

①　心豊かでたくましい「かつやまっ子」を育成するため、その核となる青少年育成勝山市民会議と各地区応援ネットワークなどの活動充実を支援し、家庭も地域も行政も市民総ぐるみで「かつやまっ子応援プラン」の取組みを推進する。

②　社会教育の拠点としての公民館が、さらに活力ある地域づくりの拠点となるよう、職員の体制見直し検討やスキルアップを通して、機能向上を目指す。

③　生涯学習センター「友楽喜」を拠点とする「市民大学」や学習意欲旺盛な高齢者の「さわやか大学」が一層活性化するよう、市民の学習ニーズに対応した魅力的で多彩なプログラム提供と学習機会の充実を図る。

　　さらに、市の各部局が開催する講演会・講座も含め総合的・体系的に構成する「市民総合大学」へ移行し、市民がより利用しやすい一体的情報の提供と参加促進を図る。

④　「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」のエリアである市内全域をフィールドに、勝山ならではの自然を活用した「ジオツアー」やキャンプ、登山など多様な体験学習を推進する。

⑤　「生涯学習人材バンク」の普及活用など、市民が培ってきた貴重な知識や技術の社会への還元を促し、さらに多くの市民の生涯学習活動や地域活性化グループなどの活動に繋げる。

⑥　学校や各種講座など様々な場において人権教育・啓発活動を推進し、子どもから一般市民までの人権意識の高揚と普及を図る。

⑦　市民に愛され親しまれる図書館を目指し、より利用しやすい環境づくりに努めるとともに、「はたや記念館　ゆめおーれ勝山」や各地区公民館との効果的な連携により、さらに幅広い市民の利用促進を図る。

　　　また、勝山市子ども読書活動推進計画に基づき、「ブックスタート」の実施をはじめ家庭・地域・学校・図書館が連携した活動を展開し、子どもの頃から「読書に関心を持ち」、「読書を楽しみ」、「読書で学べる」習慣が身に付くよう取り組む。

**３　文化・歴史**

① 文化・芸術のさらなる普及振興を図るため、市民や子どもが一流の文化芸術に触れる機会を提供する。また、市文化協会など各種関係団体と連携のもと、市民総合文化祭をはじめとする自主的な文化芸術活動に対する支援を積極的に行い、個人・グループ・団体の一層の活動促進を図る。

②　地域に伝わる伝統文化を次世代へ保存・継承するため、左義長櫓など郷土芸能施設の整備にかかる支援を行うほか、市民大学や公民館学級などを通じて伝統文化に触れる機会を提供する。

③　今後、勝山市の観光拠点としてさらに大きな期待が寄せられる「史跡白山平泉寺旧境内」への来訪者増へ向けて、「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」とその周辺の充実、並びに全国への積極的な情報発信を進める。

④　国史跡平泉寺と一乗谷朝倉氏遺跡およびその周辺の歴史的繋がりを調査・研究し、その成果を広く発信しながら、世界遺産登録を目指す。

⑤　国重要文化財旧木下家住宅の大規模修復を進め、貴重な文化財として後世に伝えるとともに、地域活性化に資する施設として活用を進める。

⑥　三室遺跡の周辺整備、村岡山城跡の市文化財指定へ向けて、地域との連携を密にしながら取組みを進める。

⑦　市内の豊富な文化財の調査・研究を進め、勝山城博物館をはじめとする関係機関との連携による公開展示を積極的に行い、子どもから大人までが勝山の歴史遺産に触れ、学ぶ機会を提供する。

⑧　市史編さんに基づき、親しく分かりやすく読める「ものがたり　かつやまの歴史　中・下」を発刊し、幅広い市民の郷土の歴史への理解と関心を深める。

**４　スポーツ**

①　平成３０年の国民体育大会に向け、各界各層で構成する実行委員会により準備を整えるとともに、市民の気運を高める活動を展開する。

また選手・関係者には、花いっぱい運動など市民挙げてのおもてなしの心で迎え、笑顔あふれる大会として成功するよう取り組む。

②　新体育館完成後は、平成28年度の全日本実業団バドミントン競技会を皮切りに、平成30年福井国体を含め様々な全国大会を誘致・開催する。

また、市民のスポーツの拠点として、さらには多様な催しの会場として、幅広く愛され活用される新体育館を目指す。

③　既存体育施設については、市民のニーズと施設の効率的利用を基本として、計画的に再整備・再配置を進める。（武道場、弓道場、Ｂ＆Ｇ海洋センター、市営体育館、勤労者体育館）

④　世界に羽ばたく勝山市のアスリートの活躍を広く市民を挙げて支援するとともに、ジュニア層のスポーツ人口の拡大と指導者育成、継続的な選手強化に取り組む。

また、スポーツイベント、ニュースポーツ教室などの開催により生涯を通じて誰もがスポーツに親しむ環境づくりを推進する。